

准教授

三枝 暁子

MIEDA, Akiko

1. 略歴

- 1995年3月 日本女子大学文学部史学科卒業
- 1995年4月 東京大学文学部歴史文化学科研究生入学
- 1996年3月 東京大学文学部歴史文化学科研究生修了
- 1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程入学
- 1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程修了
- 1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程進学
- 2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程単位取得退学
- 2003年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）～2005年3月
- 2005年4月 立命館大学文学部任期制講師～2008年3月
- 2006年6月 博士（文学）学位取得
- 2008年4月 立命館大学文学部准教授
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本中世史

b 研究課題

13～16世紀における日本中世の都市社会構造、中世身分制

c 概要と自己評価

13～16世紀の京都を素材として、日本中世の都市の社会構造の分析を進め、特に災害下の民衆の動向や、非人身分に象徴される被差別民の社会的位置について検討した。あわせて、中世身分制研究の研究史をふりかえる機会にも恵まれ、自身の研究の今日的意義について考えることができた。また、この数年来検討してきた、観光言説においては等閑視されがちな京都の特定の「場」や集団の歴史について、広く伝える機会を得ることもできた。今後は、都市居住者の身分・空間が大きく変動していく16世紀の政治および社会の動向について、考察を深めていきたい。

d 主要業績

(1) 著書

共著、出口雄一・神野潔ほか『概説日本法制史』、172-186頁、2018.3

(2) 論文

三枝暁子、「地震と権力—文禄の大地震をめぐって—」、『科学』、86-8、779-782頁、2016.8

三枝暁子、「中世身分制と差別」、『歴史評論』、801、6-19頁、2016.12

(3) 座談会

大山喬平、久野修義、馬田綾子、三枝暁子ほか3名、「大山喬平氏の中世身分制・農村史研究の軌跡—「領主制・中世村落・身分制」研究から「ゆるやかなカースト社会」論、「ムラの戸籍簿」研究へ」、『部落問題研究』218、3-111頁、2016.10

(4) 学会発表

国内、三枝暁子、「近世都市京都の成立をめぐって—「町人」身分について考える—」、歴史学研究会中世史部会例会、2016.12.18

(5) マスコミ

「古都の深層—秘められた場の歴史5 西ノ京」『京都新聞 朝刊』、2017.11.15

「古都の深層—秘められた場の歴史6 嵐山」『京都新聞 朝刊』、2017.12.6

「古都の深層—秘められた場の歴史10 東福寺」『京都新聞 朝刊』、2018.1.17

(6) 共同研究（産学連携除く）

国内、参画、東京大学史料編纂所、共同利用・共同研究拠点一般共同研究「史料編纂所所蔵賀茂別雷神社関係史料を中心とした同社文書および社内組織の研究」、2016.4～2018.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、立命館大学（文学部）「京都学フィールドワーク」、2016.9（夏期集中授業）

非常勤講師、立命館大学（文学部）「京都学フィールドワーク」、2017.9（夏期集中授業）

その他 大山崎ふるさとセンター連続講演会「『保』をめぐる住民のつながり—自治の基層」
「京都・西之京七保の歴史と文化—北野社門前の祭祀結合—」、2016.9

(2) 学会

国内、都市史学会、企画委員、編集委員、2017.12～